SONY

A-BY6-100-**01** (2)
7819900722

DVD/CD リライタブルドライブ

取扱説明書・保証書（保証書は裏表紙に印刷されています。）

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

DRU-700A

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

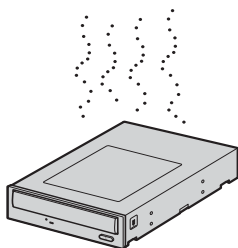
安全のための注意事項を守る

以降の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐに修理窓口、または販売店にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- **煙が出たら**
- **異常な音、においがしたら**
- **内部に水、異物が入ったら**
- **製品を落としたりキャビネットを破損したとき**

❶ パソコンの電源を切る。
❷ パソコンの電源コードを抜く。
❸ 接続されている周辺機器を取りはずす。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

目次

はじめに

同梱品を確認する 6
本機の特長 6
必要なシステム構成 7
各部の名称とはたらき 8

セットアップ

本機を取り付ける 10
本機のジャンパを設定する 15
本機を既存のドライブと交換する 15
本機を 2 台目のドライブとして増設する 16
本機を 3 台目のドライブとして増設する 17
本機を 4 台目のドライブとして増設する 18

操作

ソフトウェアについて 19
付属ソフトウェアの一覧 19
市販ソフトウェア製品のご使用について 20
DVD や CD の内容を表示する 20
使用可能なディスクについて ...21
推奨する記録用ディスク製品 ... 23
いろいろな記録用ディスクの特長 24
ディスクの読み書きについてのご注意 28
本機の性能を発揮するために ...30
高速で書き込みを行う 30
高速の転送速度を得る 30
ファームウェアをアップデートする 30

その他

使用上のご注意 31
主な仕様 32
製品サポートのご案内 33
ユーザーサポートウェブページのご案内 33
ファームウェア／ソフトウェアのアップデート 33
お問い合わせ先 33
保証書とアフターサービス 34
保証書 34
アフターサービス 34

⚠警告　感電　火災

下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。

DC 電源プラグを正しく接続する

パソコンの DC 電源プラグを正しく接続しないと、火災や感電の原因となります。
- パソコンから供給されている DC 電源プラグ以外は接続しない。
- しっかり根元まで指し込む。
- DC電源プラグの向きを反対に接続しない。
- DC電源プラグについたほこりなどは定期的に取り除く。

直射日光のあたる場所や、熱気、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。本書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、修理窓口、または販売店にご依頼ください。

内部を開けない

開けたり改造したりすると、レーザー光線による視力障害や、火災、感電の原因となることがあります。内部の点検、修理は修理窓口、または販売店にご依頼ください。

⚠注意

下記の注意を守らないと、けがをしたり、周辺の物品に損害を与えることがあります。

パソコンへ取り付ける際のご注意

- パソコンの電源コードをコンセントから抜き、電源を切る。
- 付属ネジを使用して、しっかりとパソコンに固定する DC 電源プラグの向きを反対に接続しない。
- 不用意にパソコン内部を触らない。
- ぬれた手で、取り付けを行なわない。
- 雷が鳴り出したら、取り付けを行なわない。

割れたディスクやヒビの入ったディスクを使用しない

高速回転時に内部でディスクが破壊されて破片が飛び出し、けがの原因となります。

長時間使用しないときはパソコンの電源コードを抜く

長時間使用しないときは、安全のためにパソコンの電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

レーザー安全基準について

この装置は、レーザーに関する安全基準（IEC60825-1）クラス 1 適合の DVD/CD リライタブルドライブです。

- Power-Burn、および Power-Burn conformed はソニー株式会社の商標です。
- Pentium は、米国 Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft、および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では TM、® マークは明記していません。

□ 弊社による製品保証は、同梱付属品（ソフトウェア含む）を使用し、指定または推奨するシステム環境を満足し、かつ説明書に従う正常なご使用の場合において、DVD/CD リライタブルドライブ本体に限り有効です。また、ユーザーサポートなどの弊社サービスについても、製品保証と同等の使用条件に限り対応致します。

□ 本製品のご使用による、パソコン本体や他の機器の不具合、特定のハードウェア・ソフトウェア・周辺機器に対する適性、またインストールされたソフトウェア相互の適正などに起因する動作障害、データやディスクの損失、あるいは他の偶発的または必然的な損害に対しては、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

□ 保証およびユーザーサポートは、本書の保証書に記載された国または販売地域においてのみ有効です。

□ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。

□ 本機または本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。

□ 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。

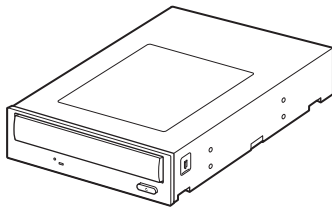
□ 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

著作権にご注意ください

ディスクにデータを記録する前に、その行為が著作権法に違反していないかご確認ください。他の人が制作したものや市販のソフトなどを著作権者の許可なくコピーすることは、法律で禁止されており、こうした行為は処罰の対象となる場合があります。なお、お客さまご自身が制作したデータは、本機を使って自由にコピーすることができます。

同梱品を確認する

梱包箱から取り出したら、ドライブと以下の付属品がそろっているか確認してください。
万一、不足しているものがあったり損傷しているものがあるときには、お買い上げの販売店にご相談ください。

• ドライブ本体

• 取り付けネジ（４本）
• クイックスタートガイド
• 取扱説明書・保証書（本書）
• フロントパネル交換キット
• フロントパネル交換ガイド
• ソフトウェアディスク

ご注意

ソフトウェアディスクは、必ず、ディスクなどにバックアップをとっておいてください。
万一、紛失や破損した場合も、ソフトウェアディスク単体での販売はいたしかねますので、ご了承ください。

本機の特長

この製品には、次の特長があります。

□ ATAPI インターフェースのパソコン内蔵型 DVD/CD リライタブルドライブです。

□ 縦置き、横置きのどちらでも使えます。

□ ダブルレイヤーディスクへの書き込みに対応しています。

□ 高速書き込みに対応する DVD±R ディスクを使用することで、最大 8 倍速の書き込みができます。

□ 1 台で 7 種類のメディアへの書き込みに対応しています。

□ バッファーアンダーランエラーの発生を防ぐ、Power-Burn conformed が搭載されています。

□ 同梱されているフロントパネルとの付け換えが可能です。

必要なシステム構成

本機をご使用になるには、以下のシステムが必要です。*[1]

□ PC/AT 互換パソコン

□ CPU：Pentium III ／ 800 MHz 以上（Nero Vision Express: Pentium 4 ／ 1.6 GHz 以上）

□ RAM：256 M バイト以上

□ ハードディスク空き容量：1 G バイト以上（Nero Vision Express: 10 G バイト以上）

□ IDE（ATAPI）コネクターに空きがあること。*[2]

□ ハーフハイトのドライブ用スロットに空きがあること。

□ 内蔵ドライブ用 +12 V/+5 V の電源プラグに空きがあること。*[3]

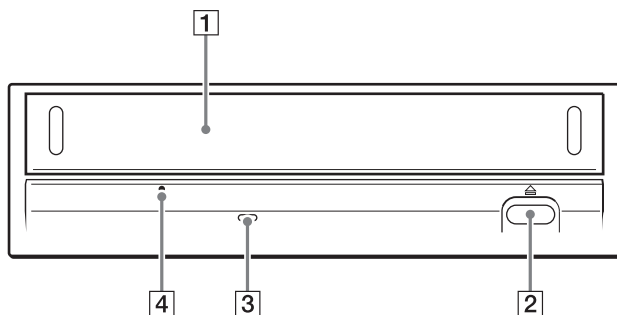
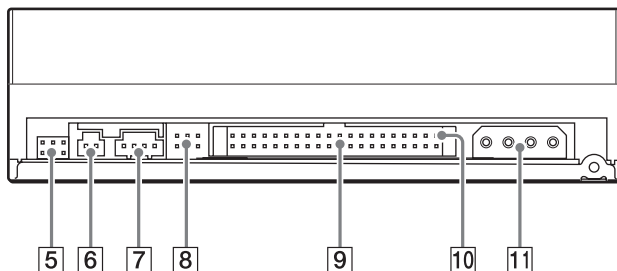
□ OS：
Windows 2000 Professional（Windows 2000）、
Windows XP Home Edition および Windows XP Professional (Windows XP)

*[1] このシステム構成は、標準的な書き込み動作を想定した目安です。実際に本機を使用するには、お使いのソフトウェアで指定された条件も満たす必要があります。詳しくは、ソフトウェアの取扱説明書やヘルプをご覧ください。

*[2] 本機は、ATAPI インターフェースカードへの接続には対応していないため、パソコンのマザーボード上の IDE（ATAPI）コネクターに直接接続してください。

*[3] 高速回転時など、本機は比較的大きな電力（電流）を必要とします。電源プラグに接続されるすべてのドライブ製品の定格電力（定格電流）の合計が、内蔵ドライブ用電源の定格電力（定格電流）を超えないようにご注意ください。各ドライブ製品の定格電力については、取扱説明書をご覧ください。

各部の名称とはたらき

前面

背面

1 ディスクトレイ

ラベル面を上にして、ディスクをセットします。

ヒント

ディスクはツメ（4か所）の下にセットします。本機を縦置きにしているときは、下側のツメの内側にディスクをセットしてください。

2 イジェクトボタン

ディスクトレイを開閉します。

3 ビジーインジケーター

本機の状態を示します。

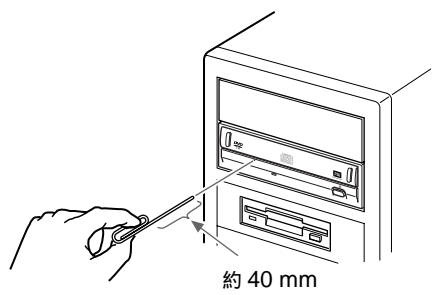
点灯 *: 読み出し、音楽CDの再生、書き込み（パケットライト）中など

点滅 ：書き込み（ディスクアットワンス、トラックアットワンス）、フォーマット、消去中など

消灯 ：上記以外のとき

* 機種によっては点滅ではなく、点灯の場合があります。

4 緊急イジェクト穴

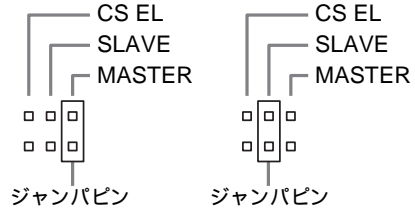
ディスクトレイが開かなくなったときは、パソコンの電源を切ってから細い棒などをこの穴に差し込むと、手動でトレイを開くことができます。

5 使用しません。

6 使用しません。

7 アナログオーディオコネクター

2チャンネルのアナログオーディオ信号が出力されます。オーディオケーブルを使用し、パソコンやパソコンに搭載されているサウンドカードなどのオーディオ入力コネクターに接続します。

8 ジャンパ

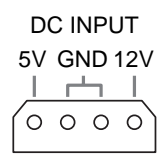
接続前に設定を変更します。

9 IDEコネクター

IDEフラットケーブルを使用して、パソコンに接続します。

10 1番ピン

接続ケーブルの向きを確認するための目安にします。

11 DC INPUT（電源入力）コネクター

パソコンの内蔵ドライブ用の電源プラグを接続します。

本機を取り付ける

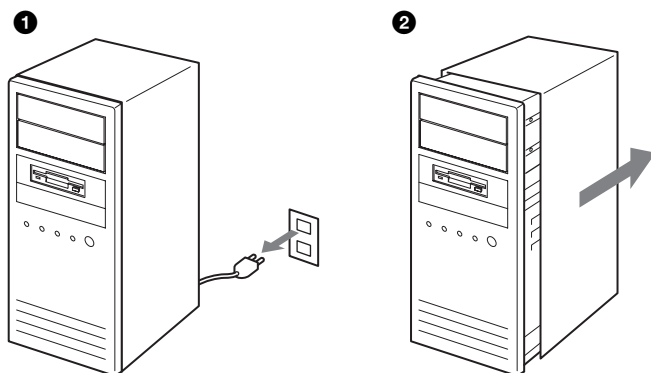
本機をパソコンに取り付けて使えるようにするまでの操作を、一般的なパソコンを例に説明します。
お使いのパソコンの取扱説明書もあわせてご覧ください。

取り付けする前に

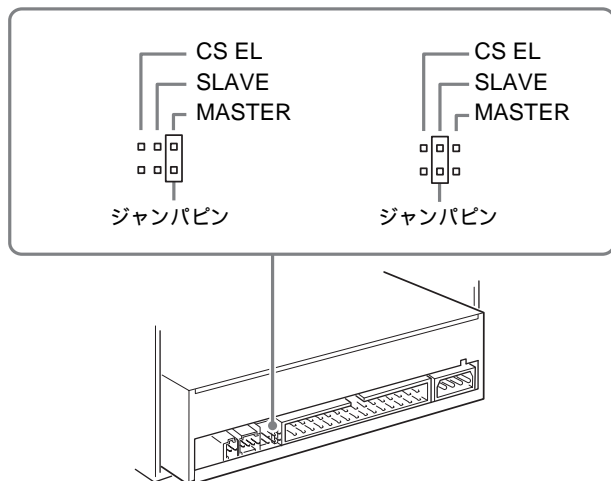
◆「同梱品を確認する」(6 ページ)をご覧になり、付属品がすべてそろっているか確認してください。

ご注意

パソコンに取り付けるときは、本機のコネクター部分やパソコン内部の基板、電子部品には直接手を触れないでください。人体の静電気によって部品が故障することがあります。作業の前に、パソコン本体の金属部分に触れて静電気を放電してください。

1 パソコンの電源を切ってから電源コードを抜き、カバーをはずす。

2 本機とマザーボードの接続方法を決め、本機背面のジャンパを設定する。

本機が MASTER となるか SLAVE となるかに応じて、図の位置にジャンパピンをさします。

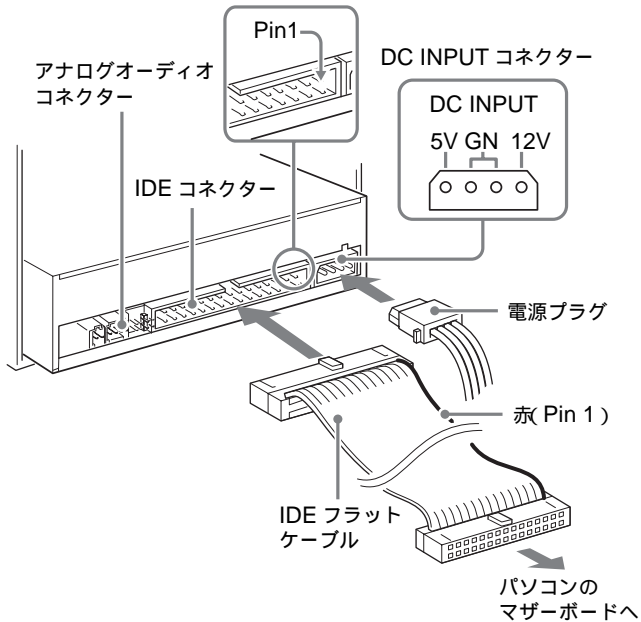
◆本機を接続する場所や適切なジャンパ設定が不明な場合は、「本機のジャンパを設定する」(15 ページ)をご覧ください。

ご注意

- すでに CSEL の設定で取り付けられているドライブと交換して本機を取り付ける場合は、本機のジャンパを CSEL に設定してください。
- ジャンパピンは、必ず縦（図の方向）に差してください。横に差すとドライブが誤動作したり破損することがあります。

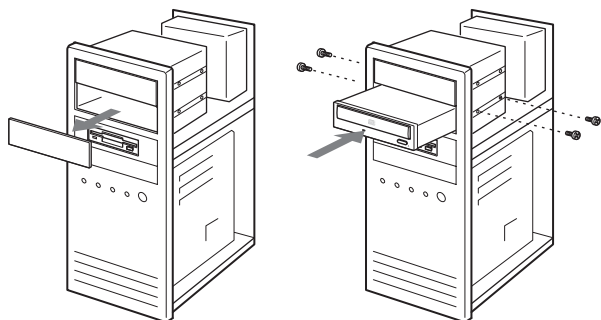
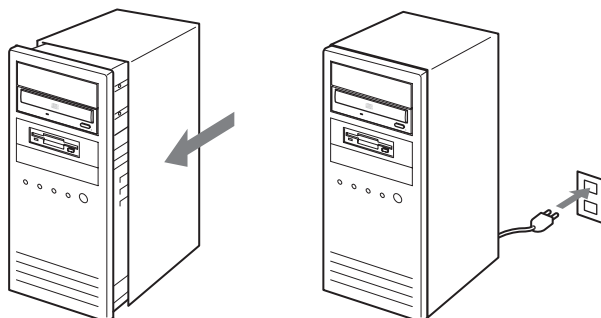
3 ケーブルを接続する。

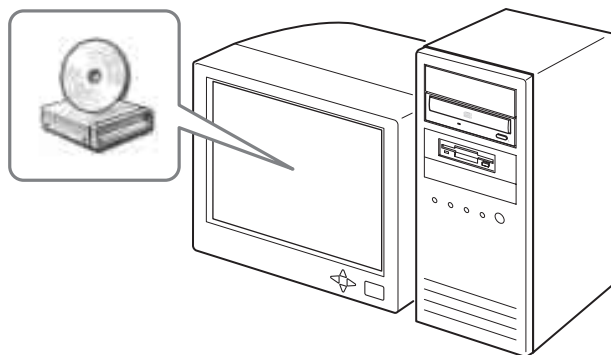
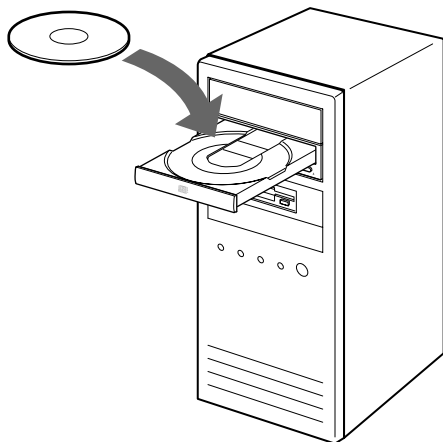
- パソコンの空いている電源プラグを DC INPUT（電源入力）コネクターに接続します。
- IDE コネクターに IDE フラットケーブルを接続します。

ヒント

パソコンがデジタル再生に対応している場合は、オーディオケーブルをアナログオーディオコネクターに接続する必要はありません。（Windows 98 のプリインストールされた旧型のパソコン製品などを除き、ほとんどのパソコンは、デジタル再生に対応しています。）

ご注意

- IDE フラットケーブルの赤い線が Pin 1 側です。マザーボードの IDE コネクターの Pin 1 側を確認して接続してください。
- 電源プラグは斜めにカットされている側を上にして接続してください。
- 電源プラグが空いていない場合は、分岐ケーブルが必要になります。

4 **取り付けネジを使って、パソコンの５インチベイに本機を取り付ける。**

5 **パソコンのカバーを取り付け、電源コードを接続する。**

6 **パソコンを起動し、本機が認識されることを確認する。**

Windowsの［マイコンピュータ］を開き、ドライブのアイコンが追加されていることを確認してください。

7 付属のソフトウェアディスクを使ってソフトウェアをインストールする。

画面の指示に従ってソフトウェアをインストールします。

◆ **各ソフトウェアの機能については「付属ソフトウェアの一覧」(19 ページ)をご覧ください。**

ヒント

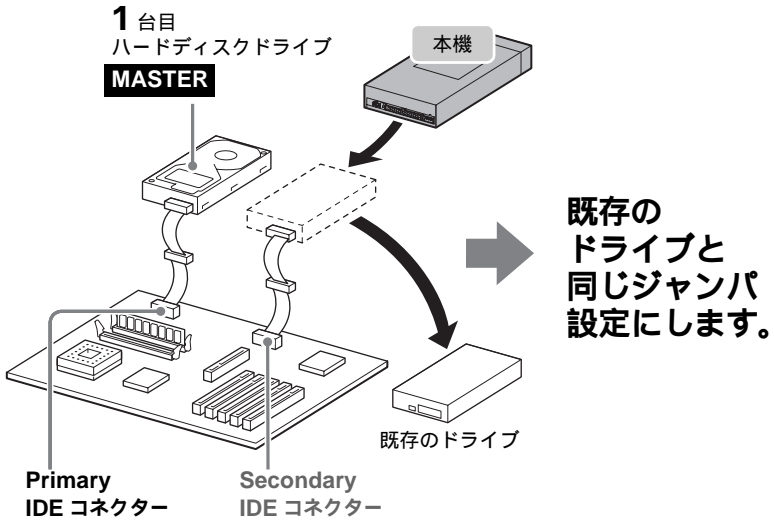
ソフトウェアディスクからソフトウェアをインストールする際に、シリアル番号の入力は必要ありません。一部機能のアップグレードサービスなどを利用する場合には、ソフトウェアの販売・開発元の Web サイトから購入したシリアル番号やアップグレードキーの入力が必要になることがあります。

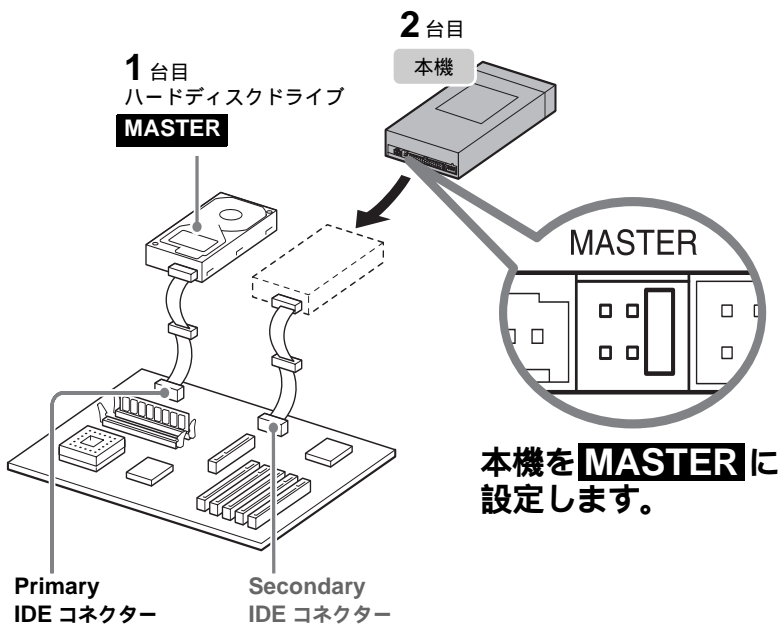
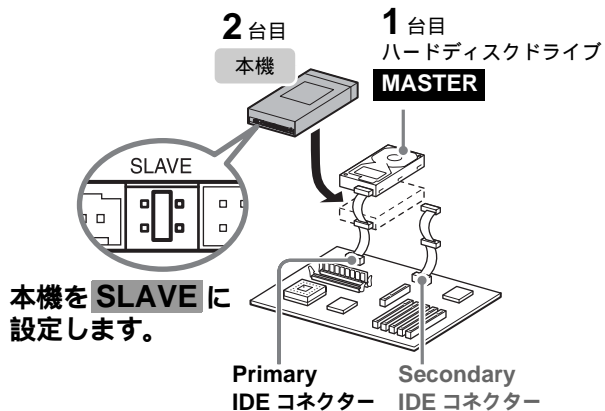
本機のジャンパを設定する

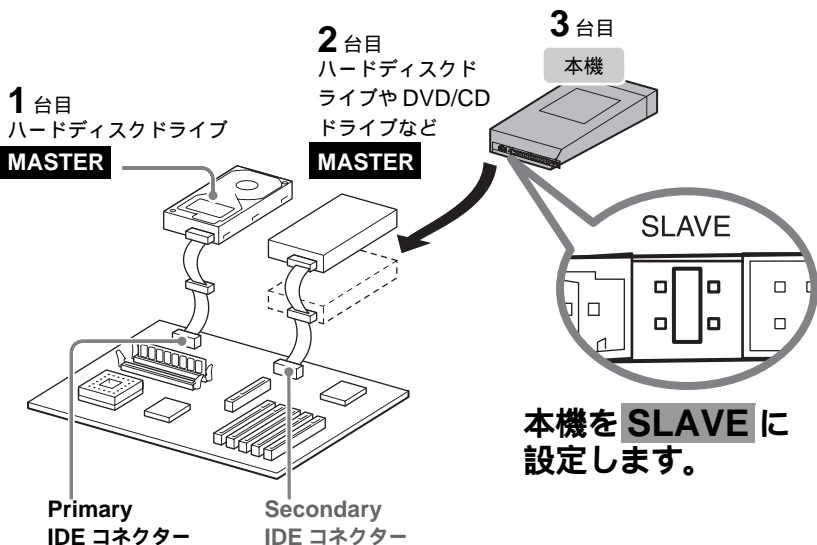
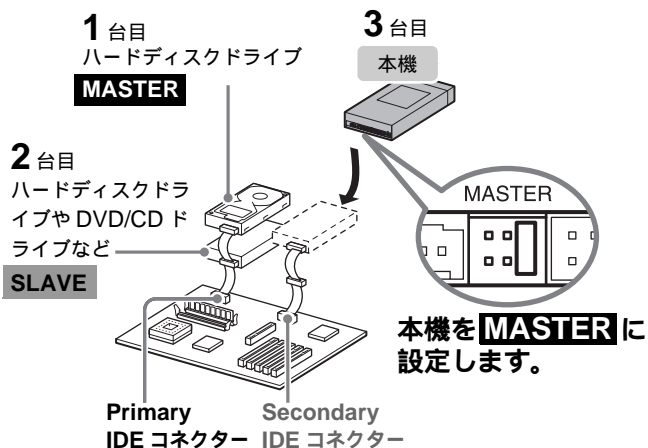
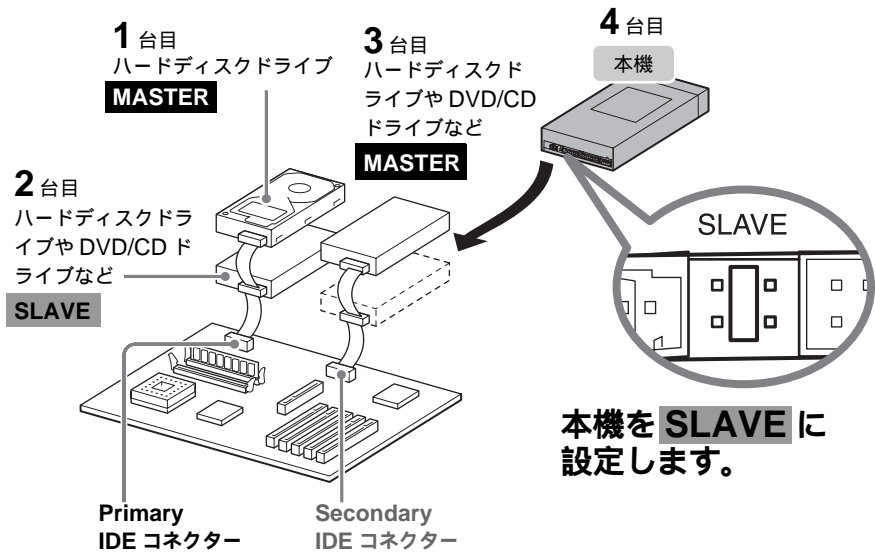
お使いのパソコンの状況に応じて以下のように設定してください。

ヒント

パソコンには Primary と Secondary の 2 つの IDE コネクターがあります。この 2 つのコネクターにそれぞれ 2 台の機器（ハードディスクドライブや DVD/CD ドライブなど）を接続できます（1 台目を MASTER、2 台目を SLAVE に設定します）。通常、Primary の IDE ケーブルにはハードディスクドライブが MASTER として接続されています。本機をパソコンに取り付ける前に、接続する位置によって MASTER か SLAVE に設定する必要があります。

本機を既存のドライブと交換する

本機を 2 台目のドライブとして増設する

一般的には以下のように接続します。

以下のように接続することもできます。

本機を 3 台目のドライブとして増設する

一般的には以下のように接続します。

以下のように接続することもできます。

本機を 4 台目のドライブとして増設する

ソフトウェアについて

DVD や CD を作成したり、DVD を再生するには、付属のソフトウェアを使います。目的に合ったものをお使いください。
ソフトウェアの操作については、各ソフトウェアの取扱説明書やヘルプをご覧ください。

付属ソフトウェアの一覧

付属のソフトウェアディスクには、以下のソフトウェアが収録されています。

Nero StartSmart

nero6 に含まれるソフトウェアをすばやく簡単に起動するためのランチャーです。

Nero Burning ROM SE

高機能 CD ／ DVD ライティングソフトウェアです。

Nero Express

Nero Burning ROM の簡易版ソフトウェアです。より簡単に CD ／ DVD を作成できます。

InCD4

パケットライティングソフトウェアです。DVD-RW、DVD+RW、CD-RW に対応しています。

Nero Vision Express 2

DVD ビデオやビデオ CD を作成するためのオーサリングソフトウェアです。

Nero ShowTime

DVD ビデオやビデオ CD の再生ソフトウェアです。

Nero Wave Editor

オーディオファイル編集ソフトウェアです。WAV、MP3、WMA などの音声ファイルを編集できます。

Nero Cover Designer

CD レーベル／ジャケット作成ソフトウェアです。

Nero Toolkit

ドライブ用ユーティリティです。ドライブ性能計測ソフトウェア「Nero CD-DVD Speed」、ドライブ速度制御ソフトウェア「Nero Drive Speed」、システム情報／ドライブ情報確認ソフトウェア「Nero InfoTool」で構成されています。

市販ソフトウェア製品のご使用について

- 製品に付属しているソフトウェア以外（市販のソフトウェア、シェアウェア、フリーウェアなど）を書き込みに使用した場合は、保証およびユーザーサポートの対象外となります。あらかじめご了承ください。
- 製品に付属しているライティングソフトウェアと市販のライティングソフトウェアを同時にインストールしないでください。特に、パケットライティングソフトウェア[*1]を同時にインストールすると動作が不安定になることがあります。
- 市販のソフトウェアで本機が正しく認識されない場合には、ソフトウェアの販売・開発元のWebサイトからアップデートを行ってください。不具合が改善することがあります。

[*1] Drag-to-Disc（Roxio）、B's CLIP（BHA）、DLA（Sonic）など

DVDやCDの内容を表示する

ディスクによっては、本機にセットすると自動的に再生がはじまります。または、Windowsの［マイコンピュータ］を開いて本機のアイコンをダブルクリックすると（または右クリックして［開く］を選ぶと）、ディスクに記録されているファイルやフォルダーが表示されます。

使用可能なディスクについて

本機では、以下のディスクを使用できます。

DVD

ディスクの種類	マーク	読み込み	書き込み	書き込み速度[*1]
DVD+R	RW DVD+R	○	○	1～8 倍速
DVD+R (Double Layer)	RW DVD+R DL	○	○	1～2.4 倍速
DVD+RW	RW DVD+ReWritable	○	○	1～4 倍速
DVD-R	DVD R	○	○	1～8 倍速
DVD-RW	DVD RW	○	○	1～4 倍速
DVD-ROM	DVD ROM	○	—	—
DVD-Video	DVD VIDEO	○	—	—

*1 本機（DVD/CD リライタブルドライブ）が対応する書き込み速度。お使いのソフトウェアやディスクによっては書き込み速度が制限される場合があります。

CD

ディスクの種類	マーク	読み込み	書き込み	書き込み速度
CD-R	COMPACT disc Recordable	○	○	ディスクに示された対応速度（最大 40 倍速）
CD-RW	COMPACT disc ReWritable	○	○	ディスクに示された対応速度（最大 4 倍速）
CD-RW (High Speed)	COMPACT disc ReWritable High Speed	○	○	ディスクに示された対応速度（最大 10 倍速）
CD-RW (Ultra Speed)	COMPACT disc ReWritable Ultra Speed	○	○	ディスクに示された対応速度（最大 24 倍速）
CD-ROM	COMPACT disc	○	—	—
CD-DA（音楽 CD）	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	○	—	—
CD Extra	CD EXTRA TM	○	—	—
Video CD（ビデオ CD）	VIDEO CD	○	—	—
CD TEXT	CD TEXT	○	—	—

ディスク径	読み込み	書き込み
12 cm	○	○
8 cm	○	—

ご注意

- 円形ディスクのみご使用ください。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）のディスクを使用すると、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。
- 99 分 CD-R/RW ディスクの書き込み、および読み込みについては動作の保証をしておりません。

推奨する記録用ディスク製品

本機での書き込みには、動作確認済みディスク製品のご使用をおすすめします。動作確認済みディスク製品の最新情報は、ユーザーサポートウェブページでご案内しています。

ユーザーサポートウェブページを見るには

付属のソフトウェアディスクをドライブにセットし、表示される画面で言語を選択して、［ユーザーサポートウェブページ］をクリックします。

◆ **ウェブブラウザに URL を直接入力する場合は、以下の URL を入力してください。**
http://www.sony.co.jp/dvd_cd-rw/

ご注意

各種フォーマットを定める規格書に準拠したディスクは、ほとんどの場合、本機との相性を意識する必要なくお使いになれます。ただし、市販の製品のなかには規格上の品質や性能を満たさないものもあります。そのようなディスクを使用すると、ドライブが自動的に書き込み速度を制限したり、書き込みエラーが発生したり、正常に書き込み終わったディスクでも読み出し時にエラーが発生するなど、不具合が起こる場合があります。

いろいろな記録用ディスクの特長

本機は、さまざまな規格のディスクに書き込むことができます。表を参考に、目的に合ったディスクをお使いください。

	DVD+R DVD+R DL	DVD+RW	DVD-R	DVD-RW	CD-R	CD-RW
多くのドライブやプレーヤーで再生できる DVD-Video を作りたい	○		○			
ディスクに記録したあとでメニューや映像の編集ができる DVD を作りたい		○		○		
手軽に映像を追記できる DVD を作りたい		○				
多くのパソコンで再生できる Video CD を作りたい					○	
DVD をビデオテープの代わりに使いたい（あとで書き換えたい）		○		○		
700 M バイトを超える大量のデータを配布したい（DVD-ROM ディスクを作りたい）	○		○			
多くのパソコンで利用できるデータを配布したい（CD-ROM ディスクを作りたい）					○	
CD プレーヤーで再生できる音楽 CD を作りたい					○	
ハードディスクのデータをバックアップしたい		○		○		
データを消さずに保存しておきたい	○		○		○	
データを蓄積しておき、フロッピーディスクのように書き換えたい		○		○		○

ヒント

本機で書き込みを行ったディスクは、それぞれの規格に対応したドライブやプレーヤーで再生できます。ただし、ドライブやプレーヤー、ディスクの品質や諸特性の差により、組み合わせによっては、まれに再生ができないことがあります。再生に使用する機器の説明書もあわせてご覧ください。

CD-R ディスクと CD-RW ディスク

本機は、CD-R ディスクへの書き込みと、CD-RW ディスクへの書き込みができます。
これらディスクへの書き込みには、ライターソフトウェアを使用します。書き込んだディスクを他の CD-ROM ドライブなどで再生（データの読み出し）するには、ライターソフトウェアで書き込むときに目的に応じた設定を行います。

CD-R ディスクとは

1 度だけデータを書き込めるディスクです。1 度書き込まれたデータは消去することができません。CD-R ディスクで音楽 CD を作成したものは、一般の CD プレイヤーで再生することができます。

CD-RW ディスクとは

データを書き込んだり、消去することができるディスクです。目安として、未使用の CD-RW ディスクで約 1000 回のディスク全体の書き換えができます。
CD-RW ディスクで音楽 CD を作成したものは、一部の CD-RW 対応機種を除き、一般の CD プレイヤーで再生することができません。

High Speed CD-RW ディスクについて

High Speed CD-RW ロゴの付いたドライブでは、High Speed CD-RW ディスクに書き込みを行うことができます。High Speed CD-RW ディスクに書き込んだディスクは、一般の CD-ROM ドライブなどで再生することができます。

ご注意

High Speed CD-RW ディスクには、High Speed CD-RW ロゴの付いたドライブ以外では書き込みが行えません。追記や書き込みを行う場合は、必ず High Speed CD-RW ロゴの付いた製品を使用してください。
また、必ず High Speed CD-RW ディスクに指定された書き込み速度に設定して書き込みを行ってください。

Ultra Speed CD-RW ディスクについて

Ultra Speed CD-RW ロゴの付いたドライブでは、Ultra Speed CD-RW ディスクおよび High Speed CD-RW ディスクに書き込みを行うことができます。書き込んだディスクは、一般の CD-ROM ドライブなどで再生することができます。

ご注意

Ultra Speed CD-RW ディスクには、Ultra Speed CD-RW ロゴの付いたドライブ以外では書き込みが行えません。追記や書き込みを行う場合は、必ず Ultra Speed CD-RW ロゴの付いた製品を使用してください。また、必ず Ultra Speed CD-RW ディスクに指定された書き込み速度に設定して書き込みを行ってください。

書き込み速度について

CD-R ディスク、CD-RW ディスクへの書き込みは、ディスクに指定されている書き込み対応速度に設定して行ってください。書き込み速度の設定の変更は、ライターソフトウエアで行います。

ディスクの再生(読み出し)について

本機で作成した CD-R ディスクや CD-RW ディスクは、ほとんどの CD-ROM ドライブで再生することができます。ただし、古いタイプの CD-ROM ドライブには CD-RW ディスクの再生に対応していない機種があります。
また、本機で作成しファイナライズ処理をした音楽 CD-R ディスクは、ほとんどの CD プレイヤーで再生することができます。ただし、一部の CD プレイヤーや車載用の CD プレイヤーには、音楽 CD-R ディスクの再生を保証していない製品もあります。
なお、使用する CD-ROM ドライブ、CD プレイヤー、CD-R ディスク、CD-RW ディスクのメーカー間における品質や諸特性の差により、組み合わせによっては稀にディスクの再生ができないことがあります。

記録用 DVD ディスク

本機では、DVD+R DL、DVD+R および DVD-R ディスクへの書き込みと、DVD+RW および DVD-RW ディスクへの書き替えができます。
本機で書き込まれたデータを他の DVD-ROM ドライブや DVD プレイヤーで再生（データの読み出し）する場合、ディスクにデータを書き込むときに選択したフォーマットや、DVD-ROM ドライブまたは DVD プレイヤーの性能によっては、再生ができないことがあります。

DVD+R DL/DVD+R/DVD-R ディスクとは

1度だけデータを書き込めるディスクです。1度書き込まれたデータは消去することができません。他のDVD-ROMドライブやDVDプレイヤーでこれらのディスクの再生（データの読み出し）を行う場合、ディスクにデータを書き込むときに選択したフォーマットや、DVD-ROMドライブまたはDVDプレイヤーの性能によっては、再生ができないことがあります。

DVD+RW/DVD-RW ディスクとは

データを書き込んだり消去したりすることができるディスクです。目安として、未使用のDVD+RW/DVD-RWディスクで約1000回のディスク全体の書き換えができます。
他のDVD-ROMドライブやDVDプレイヤーでこれらのディスクの再生（データの読み出し）を行う場合、ディスクにデータを書き込むときに選択したフォーマットや、DVD-ROMドライブまたはDVDプレイヤーの性能によっては、再生ができないことがあります。

ディスクの再生（読み出し）について

本機で作成しファイナライズ処理をしたDVD+R DL/DVD+R/DVD-RディスクやDVD+RW/DVD-RWディスクは、ほとんどのDVD-ROMドライブで再生することができます。ただし、DVD-ROMドライブの機種によっては、DVD+R DLディスクやDVD+RWディスク、DVD-RWディスクの再生に対応していないものもあります。
また、マルチセッション（DVD+R DL/DVD+R/DVD+RW）、マルチボーダー（DVD-R/DVD-RW）に対応していないDVD-ROMドライブもあり、この場合は、シングルセッション（DVD+R DL/DVD+R/DVD+RW）、シングルボーダー（DVD-R/DVD-RW）のディスクしか再生できません。
また、本機で作成したDVD-Videoディスクは、多くのDVDプレイヤーで再生することができます。ただし、DVDプレイヤーの機種によっては、DVD+RWディスクやDVD-RWディスクの再生に対応していないものもあります。
なお、使用するDVD-ROMドライブ、DVDプレイヤー、DVD+R DL/DVD+R/DVD-Rディスク、DVD+RW/DVD-RWディスクのメーカー間における品質や諸特性の差により、組み合わせによってはディスクの再生ができないことがあります。（再生の互換性を保証するものではありません。）

ディスクの読み書きについてのご注意

書き込み速度について

- 高速書き込みを行うには、各速度に対応したディスクが必要です。
- 書き込み速度の設定は、書き込みに使用するソフトウェアで行います。設定方法については、ソフトウェアの取扱説明書やヘルプをご覧ください。
- 書き込み速度は、使用するディスクの品質に合わせて自動的に減速される場合があります。また、パソコンの転送速度性能によって自動的に書き込み速度が制限される場合があります。

DVD のリージョンコード（地域番号）について

DVD-Video はリージョンコード*の設定によって、再生が保護・管理されています。DVD ドライブを使用して DVD-Video を再生するには、以下のすべてのリージョンコードが一致している必要があります。

- ディスクのリージョンコード
- ドライブのリージョンコード
- 再生ソフトウェアのリージョンコード

本機ではリージョンコードの設定を、初回を含めて 5 回まで行うことができます（RPC Phase2 規定）。5 回目の設定後は、リージョンコードが変更できなくなります。この場合、本機で再生できるのは、最後に設定したリージョンコードの DVD-Video だけとなります。
不正にリージョンコードの書き換えを行わないでください。この結果生じた不具合等については、保証対象外となります。
*Region Playback Control 規格（RPC 規格）

ヒント

本機のリージョンコードの変更は、デバイスマネージャのドライブのプロパティで行うことができます。

DVD 再生時のご注意

DVD-Video はソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機はディスクの内容にしたがって再生を行うため、操作に応じた機能が働かない場合があります。DVD-Video を再生するときは、ディスクに付属している説明書も必ずご覧ください。

DVD のコピープロテクションについて

市販のほとんどの DVD-Video は、コピープロテクトが施されているため、コピーできません。また、コピープロテクトを回避する行為は著作権法に触れますのでご注意ください。

コピーコントロール CD について

本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として設計されています。
市販の著作権保護技術付きディスクのなかには、CD 規格に準拠していないものもあります。本機では、これらの CD 規格外ディスクについては動作や音質の保証はいたしかねます。本機を CD プレーヤーとしてお使いになるときは、以下のマークが表示されているディスクをお使いください。
また、これらの音楽 CD のなかには、音楽データの抽出やコピーができないものや、制限されているものがあります。詳しくは、音楽ディスクに付属の説明書をご覧ください。

本機の性能を発揮するために

高速で書き込みを行う

高速書き込みに対応した弊社で動作確認済みのディスク製品をご使用ください。
高速書き込みに対応した弊社で動作確認済みのディスク製品の最新情報は、ユーザーサポートウェブページでご案内しています。
上記以外の高速書き込みに対応したディスク製品を本機でご使用の場合は、書き込み後のディスク読み出し品質を維持するために、ディスクの品質を本機が自動的に判断して書き込み速度を制限することがあります。

高速の転送速度を得る

パソコンをウルトラ DMA 転送に適した環境に整えることで、本機は高速な速度性能を発揮することができます。ウルトラ DMA 転送に適した環境にするためには、以下の方法があります。

- Windows のシステム設定で DMA を有効にする。
- 本機と同じ ATAPI/EIDE ケーブルで接続したハードディスクに、ウルトラ DMA に対応した製品を使用する。
- ウルトラ DMA に対応した ATAPI/EIDE ケーブルを使用する。
- ノイズの影響を受けにくくするために、パソコン内部の電源ケーブルと ATAPI/EIDE ケーブルがからまないように離して配線する。

ファームウェアをアップデートする

本機では、最新ファームウェアをアップデートして使用することをおすすめします。最新ファームウェアにアップデートすることで、書き込みや読み出しの性能が向上することや不具合が改善することがあります。
最新ファームウェアがユーザーサポートウェブページで公開されているかどうかをお確かめください。

ヒント

ファームウェアとは、ドライブの中に組み込まれていて、ドライブ本体を動かすソフトウェアのことです。

使用上のご注意

使用・保管場所について

湿気の多いところや温度の高いところ、激しい振動のあるところ、直射日光の当たるところで使用したり保管しないでください。

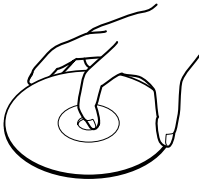
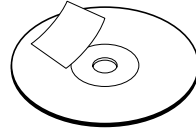
輸送について

本機を単独で輸送する場合は、お買い上げ時の梱包箱を使用してください。本機や本機を搭載したパソコンを移動するときは、その前に必ずディスクを取り出してください。

結露現象について

急激な温度変化は避けてください。寒いところから暖かいところに移したり、室温を急に上げた直後は使わないでください。内部に結露が生じている場合があります。使用中に急激に温度が変化した場合は、電源を入れたまま使用を中止して 1 時間以上待ち、それから電源を切ってください。

ディスクの取り扱いについて

- ディスクは外縁を支えるようにして持ちます。記録面に触れないでください。

- ディスクに紙などを貼ったりしないでください。

- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房機具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- 大切なデータを守るため、ディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。
- 記録用ディスクは、データを記録する前には絶対にクリーナーで拭かないでください。ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。
- 記録用ディスクの未記録部分にキズやほこりがあると正しいデータが記録できないことがあります。取り扱いには充分ご注意ください。

主な仕様

使用可能なディスク	読み込み（最大速度）	書き込み（最大速度）
DVD+R	8×-CAV	2.4×
DVD+R (4 ×)	8×-CAV	4×
DVD+R (8 ×)	8×-CAV	8×ZCLV
DVD+R (Double Layer)	6×-CAV	2.4×
DVD+RW	8×-CAV	2.4×
DVD+RW (4 ×)	8×-CAV	4×
DVD-R	8×-CAV	1×
DVD-R (4 ×)	8×-CAV	4×
DVD-R (8 ×)	8×-CAV	8×ZCLV
DVD-RW	8×-CAV	1×
DVD-RW (2 ×)	8×-CAV	2×
DVD-RW (4 ×)	8×-CAV	4×
DVD-ROM	12×-CAV	−
DVD-Video	4×-CAV	−
CD-R	40×-CAV	40×-PCAV
CD-RW	32×-CAV	4×
CD-RW (High Speed)	32×-CAV	10×
CD-RW (Ultra Speed)	32×-CAV	24×-ZCLV
CD-ROM	40×-CAV	−
CD-DA	10×-CAV	−
CD-DA (DAE)	40×-CAV	−
ディスク径 12 cm	○	○
8 cm	○	−

書き込み方式

DVD

ランダムライト
シーケンシャルライト

CD

トラックアットワンス
ディスクアットワンス
セッションアットワンス
パケットライト

ドライブ

データ転送レート

DVD: 16.2 M バイト /s (12 倍速[1])
CD : 6.0 M バイト /s (40 倍速[1])

1) 最大データ転送レートは、パソコンの性能によって異なります。

アクセス時間

平均（ランダムストローク）
DVD：約 130 ms
CD：約 135 ms

バッファーアンダーランエラー防止機能

Power-Burn™ conformed

環境条件

動作温度

5 ℃～ 40 ℃

電源・その他

定格 25.5 W
DC+5 V　1.5 A max.
DC+12 V　1.5 A max.

大きさ

約 146 × 41.3 × 165 mm
（幅／高さ／奥行き）
（フロントパネル除く）

質量

約 0.9 kg（本体のみ）

インターフェース

ドライブインターフェース

ATAPI 準拠

バッファ容量

2 M バイト

製品型番（Inquiry）

SONY　DVD RW DRU-700A

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

製品サポートのご案内

ご使用中に問題が起きたり、わからないことがあったら、ユーザーサポートウェブページをご覧ください。

ユーザーサポートウェブページのご案内

ユーザーサポートウェブページでは、以下の情報を公開しています。情報は随時更新しておりますのでぜひご利用ください。

- 本機に関する情報
- 付属ソフトウェアに関する情報
- 最新ファームウェア
- FAQ
- トラブルシューティング情報
- 動作確認済みパソコン一覧
- 動作確認済みディスク製品
- 取扱説明書

など

ユーザーサポートウェブページを見るには

付属のソフトウェアディスクをドライブにセットし、表示される画面で言語を選択して、［ユーザーサポートウェブページ］をクリックします。

◆**ウェブブラウザに URL を直接入力する場合は、以下の URL を入力してください。**
http://www.sony.co.jp/dvd_cd-rw/

ファームウェア／ソフトウェアのアップデート

ファームウェアのアップデートにより問題が解決することがあります。
ユーザーサポートウェブページで本機のファームウェアが公開されているかどうかお確かめになり、ウェブページの説明に従ってアップデートしてください。

お問い合わせ先

この製品の使いかたに関するご相談、本体や付属ソフトウェアに関する技術的なご質問、故障に関するお問い合わせなど、お電話でご相談になる前に、以下で提供している情報をご確認ください。

- ユーザーサポートウェブページ
  http://www.sony.co.jp/dvd_cd-rw/
- 付属ソフトウェアについて
  付属のソフトウェアに関する情報は、ソフトウェアの製造および販売元のホームページでご案内しています。
  それでもご不明な場合、以下の相談窓口にお問い合わせください。また、動作の不具合や故障に関するご相談の場合は、次のことをお知らせください。
  - 型名：DRU-700A
  - 製造番号
  - 製品の購入年月日・ご購入店名
  - ご使用のパソコンのメーカー・型番
  - パソコンの仕様（CPU 速度、メモリー容量など）

- ご使用のソフトウェア
- 不具合時の状態：できるだけ詳しく
- 製品ご使用当初は問題がなかったか、最初からうまく動かなかったか、など

ソニーストレージコール
TEL : 0475-58-0931
受付時間 月～金（祝日を除く） 10:00 から 18:00

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

ご注意

保証およびユーザーサポートは、本書裏表紙の保証書に記載された国または販売地域においてのみ有効です。

アフターサービス

保証期間中の修理は

本書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

部品の保有期間について

当社では DVD/CD リライタブルドライブの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、修理窓口にご相談ください。

修理のご依頼について

本製品の修理をご依頼の際は、製品本体、および付属品一式を、お買い上げ店やサービス窓口にご提供ください。

- 本製品は持ち込み修理対象製品です。故障その他の理由でお買い上げ店やサービス・相談窓口に製品をご提供いただく場合、受け付けまたはご返却に関わる配送費用、製品の取り付けや取りはずし、接続調整などの諸費用はすべてお客様のご負担となります。

DVD/CD リライタブルドライブ DRU-700A

保証書

持込修理

品名	DVD/CD リライタブルドライブ
型名	DRU-700A
お買い上げ日	平成・西暦　　年　　月　　日

本書は、本書記載内容（右記記載）で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から下記記載期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店または最寄りのソニーサービス窓口に修理をお申付けください。

販売店

ソニー株式会社　東京都品川区北品川6丁目7番35号　〒141-0001
お問合せ先：お客様ご相談センター
ナビダイヤル 0570-00-3311（全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます）
携帯電話、PHSでのご利用は(03)5448-3311

保障期間	お買上げの日から　　1年
お客様住所	電話　　-　　-
お名前	様

無料修理規定

1．正常な使用状態（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態）で故障した場合には、お買上げの販売店またはソニーサービスステーションが無料修理させていただきます。ソニーの判断により製品交換させていただくことが有りますのであらかじめご了承ください。
2．保障期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、お買上げの販売店またはソニーサービス窓口に製品と本書をご持参ご提示の上、お申付けください。
3．ご贈答、ご転居等で本保証書に記入してあるお買上げ販売店に修理がご依頼になれない場合には、お近くのソニーサービス窓口またはソニーお客様ご相談センターにご相談ください。
4．保障期間内でも次の場合は有料とさせていただきます。
（1）本書のご提示がない場合
（2）本書にお買上げの年月日、お客様名、お買上げの販売店名の記入がない場合、および本書の字句を書替えられた場合
（3）使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障および損傷
（4）お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
（5）火災、地震、風水害、落雷、その他の転変地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷
（6）一般家庭用以外（例えば業務用）での使用による故障および損傷
（7）消耗した部品の交換
（8）お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金
5．この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6．この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

修理メモ	

＊ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保障期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、ソニーサービス窓口またはソニーお客様ご相談センターにお問合せください。
＊ 保障期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

T04-1001A-2

本ドライブの使いかたに関するご相談、本体や付属ソフトウェアに関する技術的なご質問、故障に関するお問い合わせなどは、本書の「製品サポートのご案内」をご覧になった上で、以下にご連絡ください。

ソニーストレージコール

TEL：0475-58-0931

受付時間
月～金（祝日を除く）
10:00 から 18:00

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35

http://www.sony.co.jp/　Printed in China